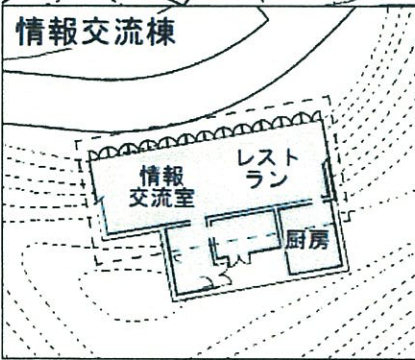
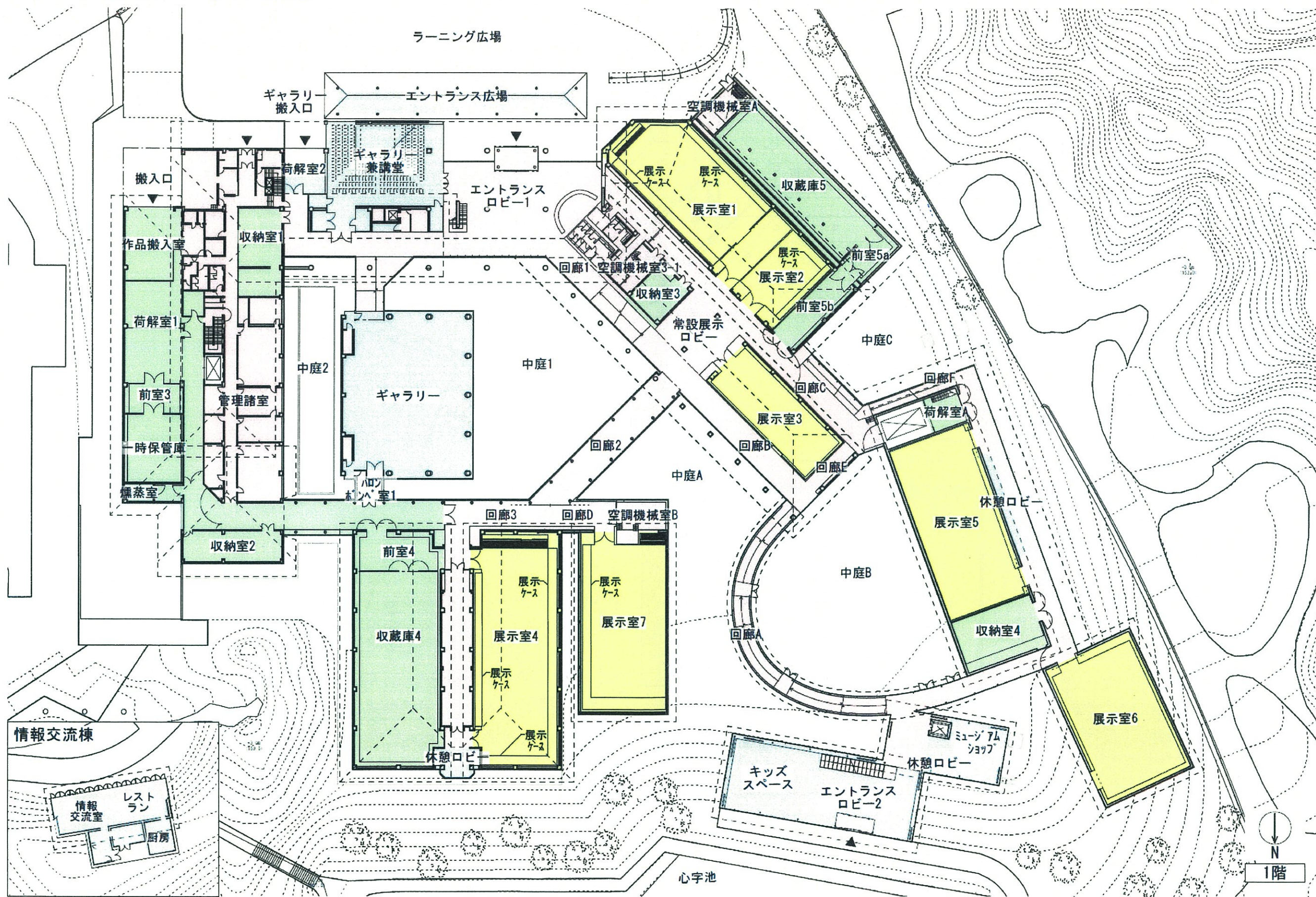


# ▶ 平面図 (1階)

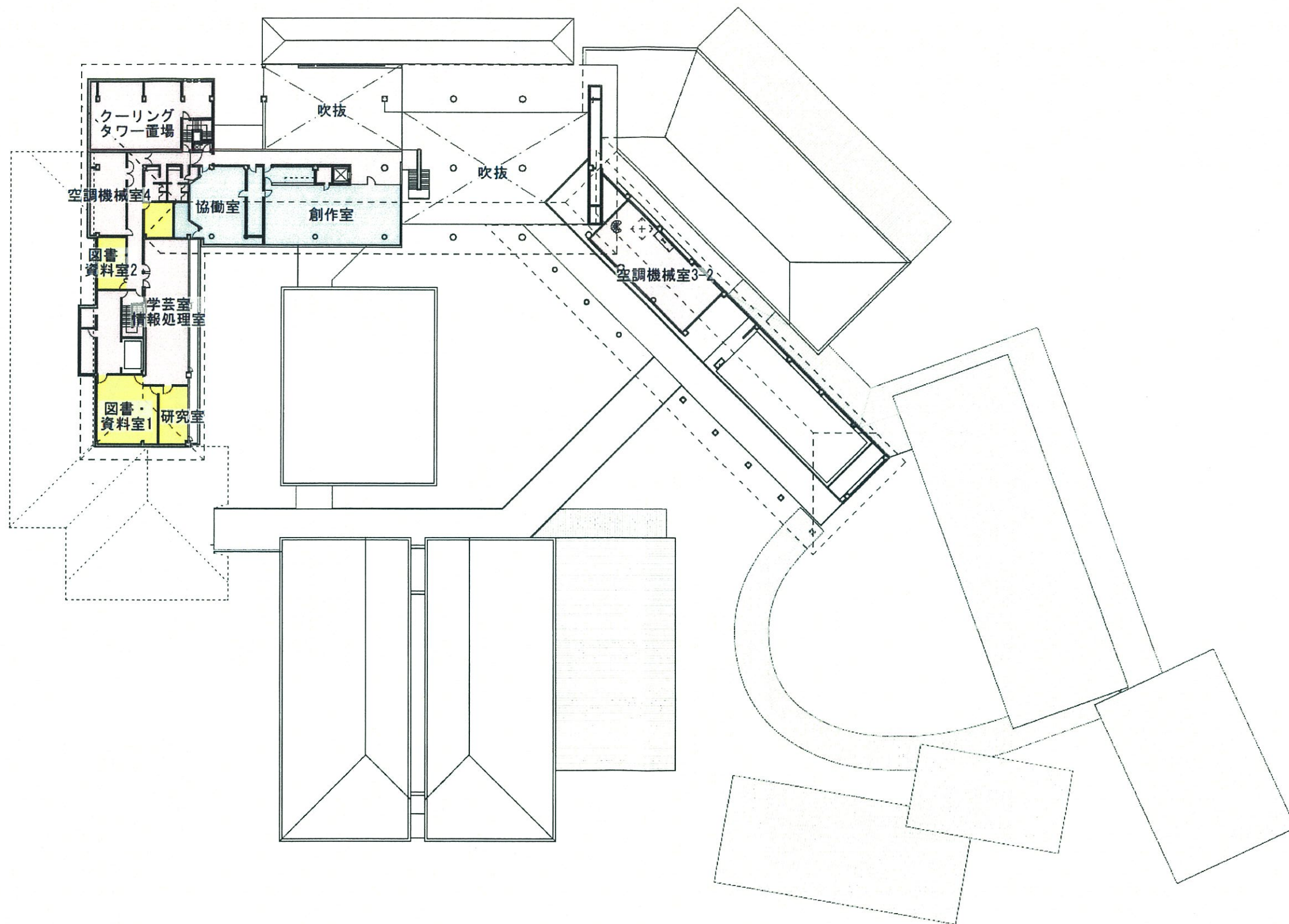


展示部門
  情報・交流・アメニティ部門
  収納部門
  調査・研究部門
  管理・共用部分



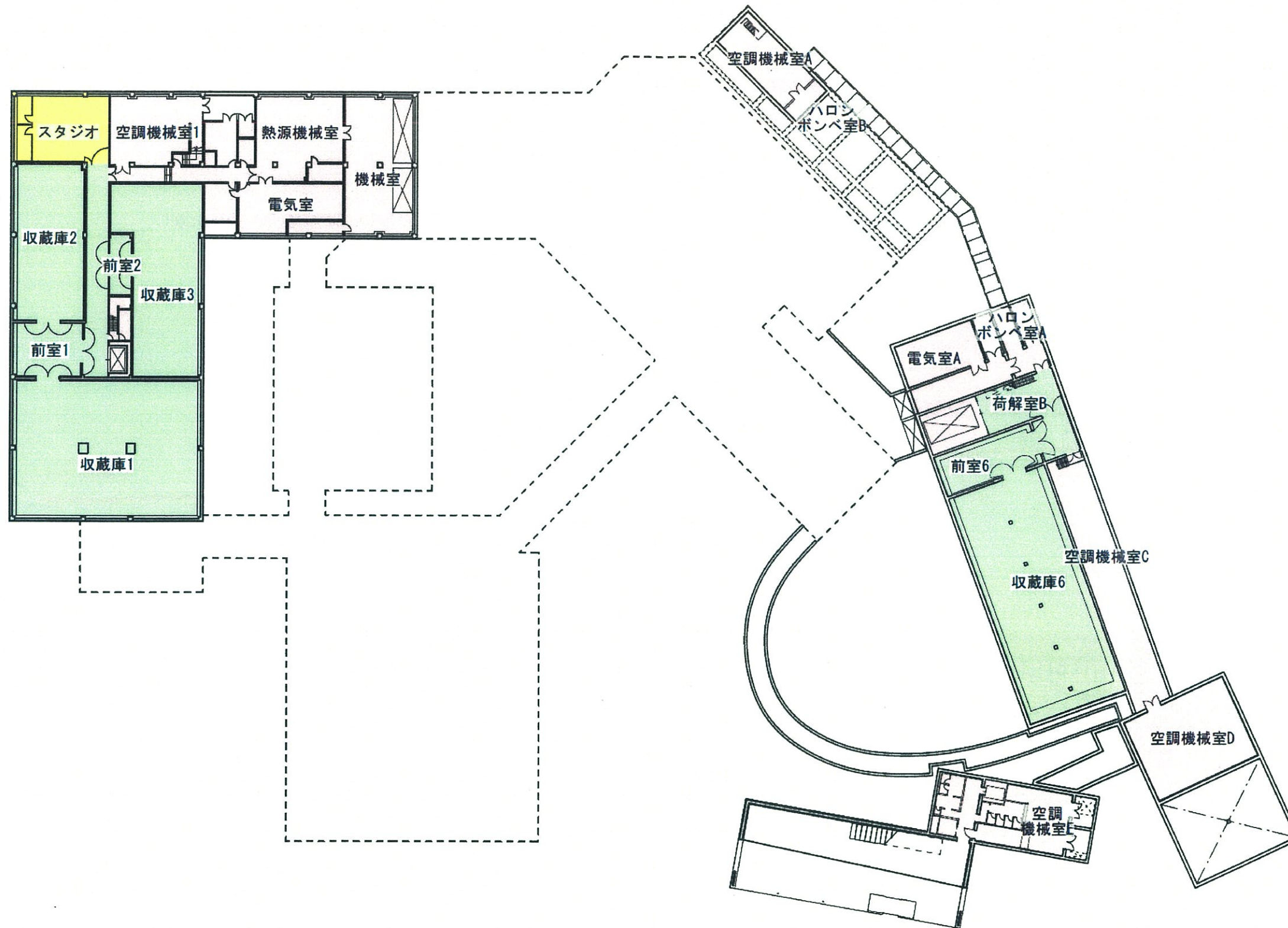


# ▶ 平面図 (2階)



展示部門
  情報・交流・アメニティ部門
  収蔵部門
  調査・研究部門
  管理・共用部分

# ▶ 平面図 (地階)



展示部門
  情報・交流・アメニティ部門
  調査・研究部門
  管理・共用部分



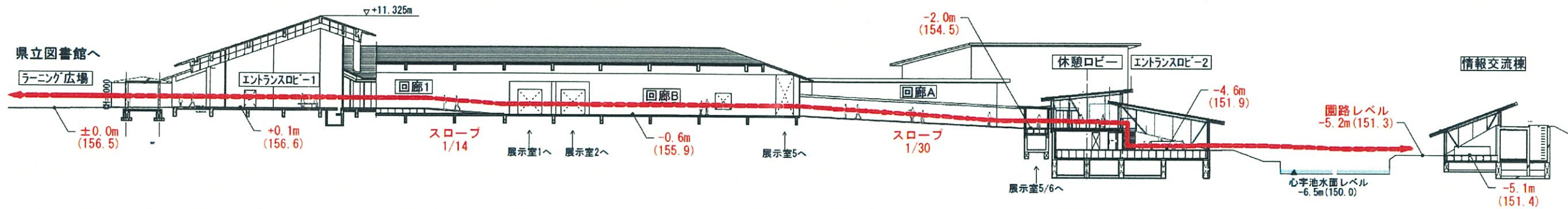
# ▶断面図

## □地形に沿った断面計画

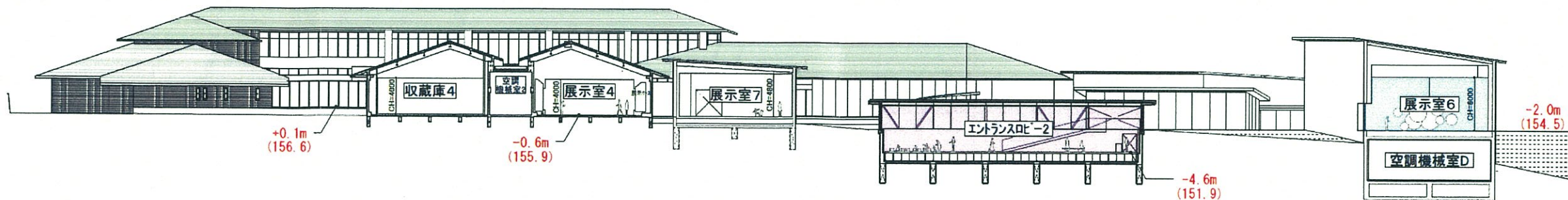
敷地の高低差は北側と南側で約5mあります。その高低差を活かし、周辺環境を取り込んだ増築計画とします。緩やかに池レベルまで地形に沿いながら増築部分を作り、美術館の中に留まらず公園を巡れるように全体の回遊性を持たせ、建物と公園を連続させた断面計画としています。

## □既存と新館をつなぐ4つのフロア構成

既存の近代美術館の2つのレベル(①GL=-0.1、②GL=-0.6)に加えて、1.4m下がった位置(③GL=-2.0)に新しい展示室5,6のレベルを計画し、さらに2.6m下がった位置(④GL=-4.6)に新しいエントランスロビー2を計画しています。各レベル差間の移動は、ゆるやかなスロープやEVを設置し、バリアフリーに配慮した計画としています。



断面図 1/500



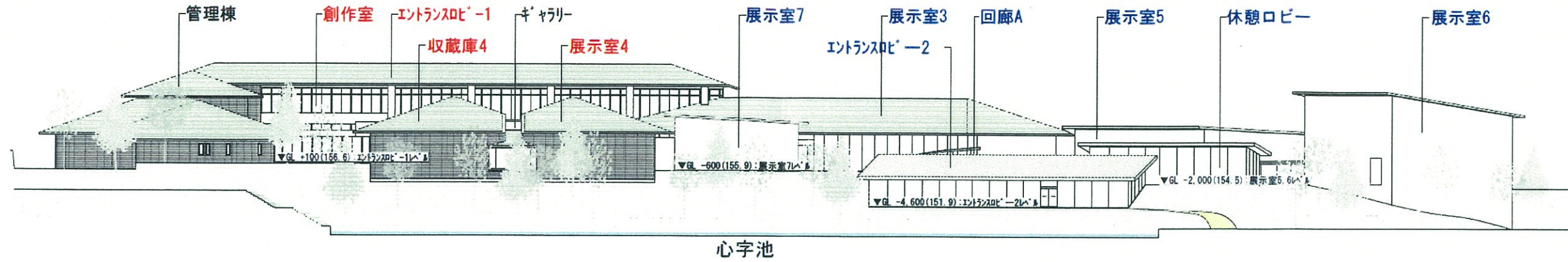
断面図 1/500



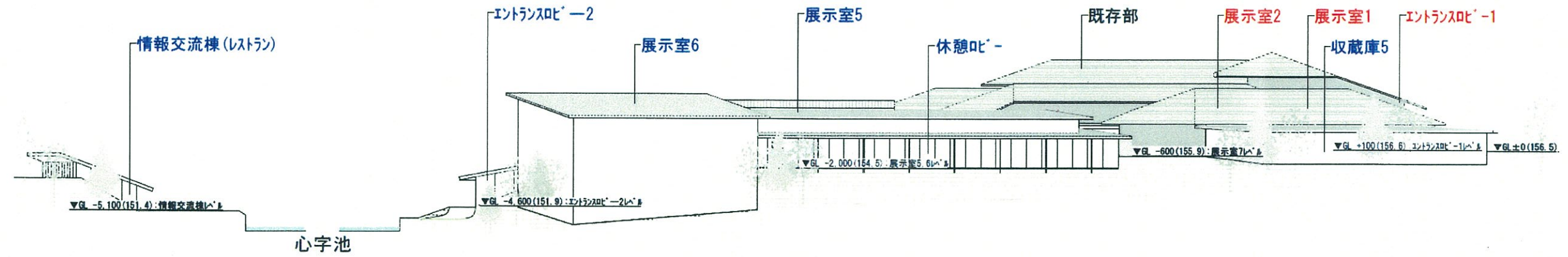
# ▶ 立面図

## □ 既存館と連続した立面計画

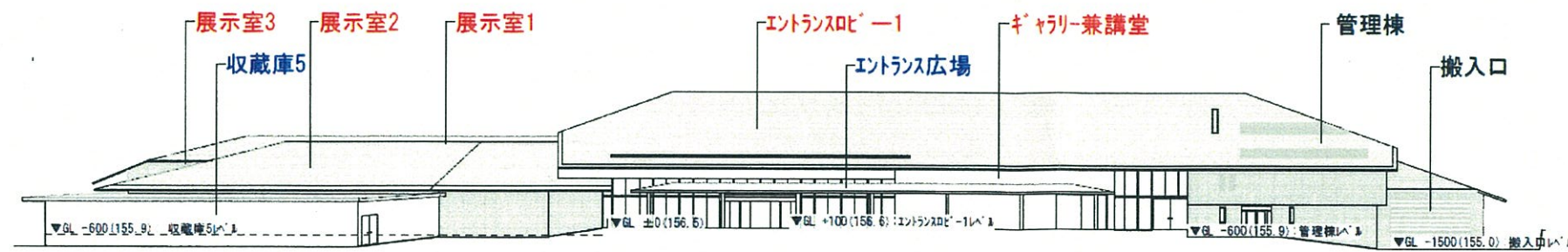
既存館に合わせて、増築部分も勾配屋根を採用し、新旧の建物が混ざり合うような立面計画としています。  
 既存館と一体となった立面は、新生美術館の新しいイメージを創出します。  
 周辺の池や中庭や園路に向かって軒面を出すことで、様々な方向に建物の表情を作り、周辺環境に溶け込んだ外観を計画します。



北側立面図 1/500



西側立面図 1/500



南側立面図 1/500

青文字	増築部分
赤文字	改修部分
黒文字	既存部分

